

# 倉庫内仕分け作業におけるロボットの活用

## 実施主体

プラスオートメーション株式会社

## 事業内容及び特徴

倉庫での出荷仕分け作業へロボット(**AMR**※)を導入することで、1人当たりの作業生産性を高め作業レベル平準化を図り、出荷仕分け作業時間分散を容易にすることで、オリパラ交通規制に備え得るかの検証を実施

## BEFORE



人が商品を探す  
→  
人が商品をピッキング  
→  
人が商品を運搬

## AFTER



※AMR: **A**utonomous **M**obile **R**obot  
人との共存を前提として製造されたロボットで物流現場への導入が期待される



ロボットが商品を探して先回り  
→  
人が商品をピッキングしてロボットへ渡す  
→  
ロボットが商品を運搬

## スケジュール

- ・2020年4月準備開始予定
- ・2020年7月実証事業終了予定

## 効果

- ・人数・教育時間削減と1人当たり生産性向上
- ・作業レベル平準化による作業時間分散・国外労働者受入
- ・ロボット・人共存型物流作業標準化による物流競争力向上